



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース
NO.56

(2017年3月24日)

〒101-0062 東京都千代田区
神田駿河台 3-2-11 連合会館内
TEL 03-3526-2920
FAX 03-3526-2921



沖縄の新基地建設反対全国統一署名

121万筆を国会へ提出

3月9日、衆議院第1議員会館内で「沖縄の新基地建設反対署名(沖縄の民意尊重と基地の押し付け撤回を求める全国統一署名)」の国会提出集会在開催され、立憲4野党1会派の5人の代表に署名を手渡しました。署名の総数は121万2281筆。第二次締め切り(4月22日)に向けてさらに取り組みを重ねることを確認しました。



集会は、長尾桂子さん(憲法共同センター)の司会進行ではじまり、まず、総がかり行動実行委員会の福山真劫さん(1000人委員会)が主催者として挨拶。「沖縄の県民挙げてのたたかいかかわらず、自公政権が基地建設をなぜ強行できるのか、本土での我々のたたかいが弱いからだ。本気で沖縄との連帯する決意を固めなければならない。安倍政権は崩壊し始めている。野党共闘と市民の力を集めれば必ず倒せる。共に頑張ろう」と訴えました。



次に沖縄から駆け付けた、基地の県内移設に反対する県民会議の大城悟さんが登壇、12万筆の署名への感謝を述べた上で、「沖縄



は決して屈するわけにはいかない、沖縄の未来と子どもたちのため基地建設を必ず止めていく!」と、その決意を述べました。

次に、沖縄の風の伊波洋一参院議員、評論家の佐高信さん、ジャーナリストの鎌田慧さんが連帯のスピーチを行いました。なお、121万筆の署名は、署名の一部を各政党内の代表5人に代表が手交。紹介議員を通じて、衆参両議員院の請願課へ提出しました。

その後、各政党の代表、民進党近藤昭一副代表、共産党志位和夫委員長、自由党玉城デニー衆議院議員が、連帯の挨拶と今後のたたかひへの決意を述べました。(社民党照屋寛徳衆院議員は衆院委員会出席のため途中退席)



次の衆議員選挙において安倍政権打倒を目指し野党共闘による候補者一本化実現にむけ奮闘する東京の市民グループが集って、3月13日、衆議院議員会館で集会が開催されました。主催は、市民と野党をつなぐ会@東京で、420人市民と立候補予定者約40人が参加、熱気ある集会となりました。

集会では、まず、各政党等の代表が挨拶、民進党の長妻昭東京都連会長代行、共産党の小池晃書記局長、沖縄の風の糸数慶子参院議員、自由党の山本太郎共同代表、東京生活者ネットの山内れい子都議会議員らが、それぞれ、市民と野党が力を合わせてたたかうことの意義を語り、次の総選挙での勝利のため、ともにたたかい抜く決意を述べました。

また、東京の25選挙区から立候補を予定している候補者42名が一人ひとり紹介され、参加者全員で記念撮影を行いました。

市民連合（安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合）の広渡清吾東大



名誉教授が挨拶し、「安倍政権の下、日本は最大の危機の中にある、だからこそ、全く新しい野党と市民をつなぐというコンセプトが生まれ、全国に市民連合が広がった。安倍政権に対して国民の側に立った政策を打ち出し、政権に対する明確な選択肢を示せば、安倍政権を必ず打ち倒すことができる。これからも苦労はあるが、最後までやり抜きたい」と決意を述べました。

また、東京の25選挙区のうち、16選挙区から、市民グループ18団体の代表が、野党共闘による候補者一本化に向け様々な工夫と努力を重ねている取り組みが報告されました。



神奈川・埼玉・千葉からも報告

また、関東近県の、神奈川の代表から、「神奈川県市民連絡会を結成、県下18選挙区の12選挙区で市民と候補者との話し合いがすすめられ、次の意見交換会には18選挙区からのすべての参加がある予定だ」との報告がありました。

埼玉からは、「15選挙区あるが、すべての選挙区で市民グループが結成され、野党共闘が成立すれば15選挙区すべてで勝利できると思う。オール埼玉で6月4日に1万5千人集会を開催する計画で、成功に向け取り組んでいる」と報告されました。

千葉からは、「千葉では今年の参議院選でも、なかなか市民連合の取り組みが遅れていたが、今年のクリスマスの頃から取り組みを強め、1月26日には、千葉県市民連合の結成集会を開催することでできた。13選挙区のうち11区で市民組織が近日中に発足集会を開催する予定だ。千葉県知事選があるが、何とか野党共闘でたたかえないか、とりくんでいるところだ」と報告されました。

